

大阪府スマートヘルスシティ 実現に向けた取組

コーディネーター

Deloitte.
デロイト トーマツ

1

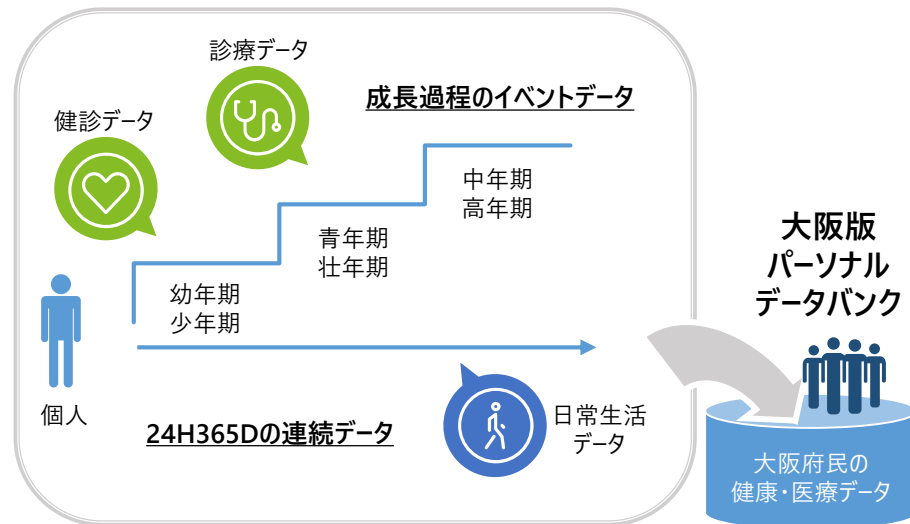
大阪府内における健康課題の解決
(平均寿命/健康寿命の延伸・医療費の適正化)

2

大阪発公民共同型ビジネスモデルの開発・展開

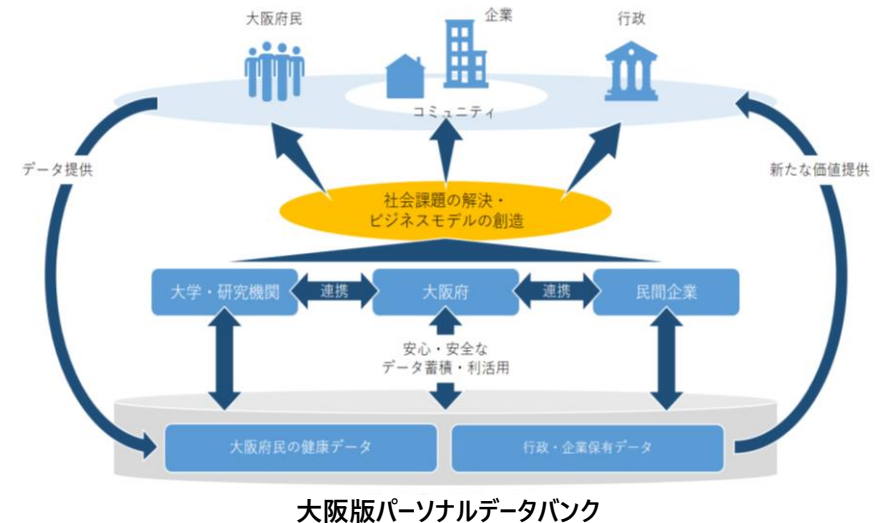
- ①大阪府民のQoL向上、②健康寿命の延伸を通じた社会保障費の適正化、
③大阪発・次世代型デジタルヘルスビジネスの創造を実現します

PHR事業



個人に紐づく健康・医療データを可視化することで、府民が自身の健康状態を把握し健康増進・疾患予防のための行動へ繋げることで**府民のQoL向上と健康寿命延伸を通じた社会保障費の適正化**を実現する。
また、**府民の健康データを継続的に蓄積・分析することが可能なデータ流通の仕組み（データプラットフォーム・データ連携ルール等）を構築**する。

ビッグデータ事業



蓄積されたデータを安心・安全に利活用し、**産官学横断で社会課題を解決**するとともに、**新たな次世代型デジタルヘルスビジネスを創出し**、府民の健康増進に寄与するだけでなく、**大阪発の新たなソリューションを世界に発信**する。

今年度の成果

阪南市市民の健康寿命の延伸・健康増進を目的として、疾患予防、特定疾患の重症化予防、フレイル予防に関する取組みを推進。

実証テーマ	目的	- 阪南市民の健康寿命の延伸 - 阪南市における医療費の適正化
	対象者	阪南市在住の男女 - 働く世代（40～60歳代が中心） - 高齢者
	施策効果	- 特定疾患の重症化予防 - 生活改善による疾患予防（糖尿病） - フレイルの予防
実証フィールド	場所	阪南市全域
	時期	2021年9月～2022年3月

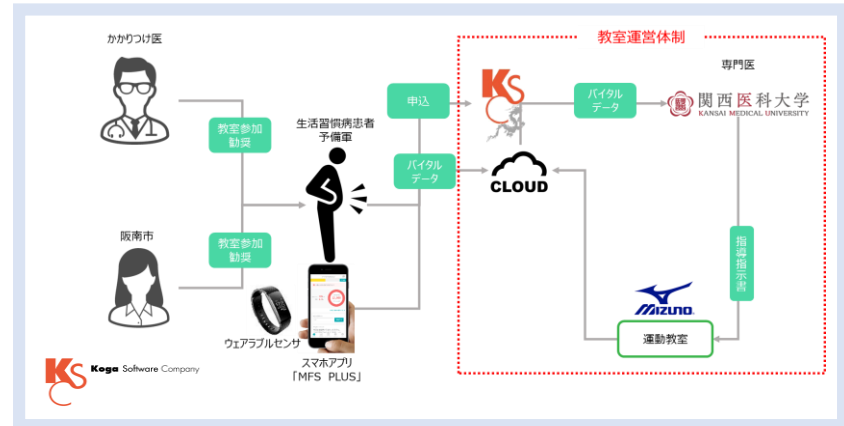
① メディカルフィットネス

新型コロナウイルスによる重症化リスクの高い基礎疾患のある高齢者を対象に、主治医、スポーツ専門医、健康運動指導士が連携し、運動指導に取り組むとともに、管理栄養士によるオンライン面談を行うなど、スポーツによる地域活性化推進事業

Point !〔参加者：101名／継続：88名〕

- 医師会から対象となる参加者を紹介
- 関西医科大学・ミズノが連携し、運動教室のカリキュラムを提供
⇒ 課題に対応したバージョンアップを提供

実証結果を本日報告



② 2型糖尿病サポート

2型糖尿病患者を対象に、食事や運動、睡眠等のPHRを登録するだけでAI管理栄養士からアドバイスがもらえるスマートフォン・アプリ「カロママ プラス」を活用し、生活習慣の改善を促す。2型糖尿病患者向けに、きめ細かな栄養基準を設定したヘルシー弁当を提供し、デジタルサービスだけではない、スマートヘルスシティの実装を見据えた「デジタル×リアル」のサービスを提供

Point !〔参加者：11名〕

- 2型糖尿病患者に最適な一日一食分のヘルシー宅配弁当を提供
- 管理栄養士によるオンライン相談を実施

実証結果（実証前後に血液検査で数値を測定）はR4.3末予定



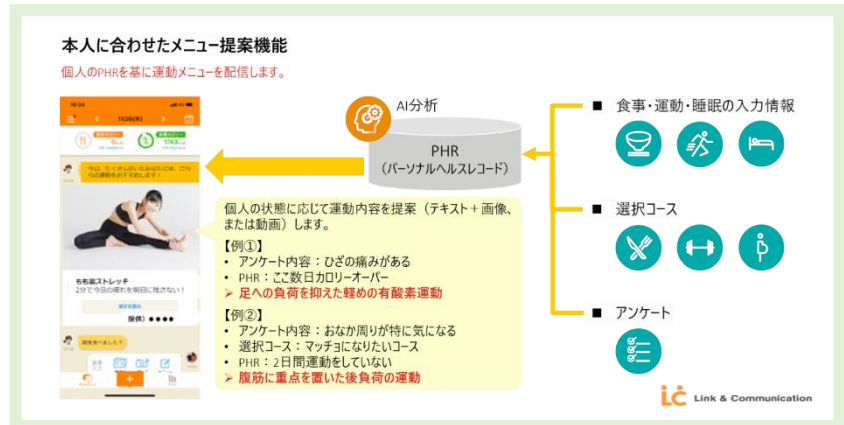
③ 運動習慣改善

働く世代を対象として住民一人一人のPHR等に基づき、①本人が運動できそうなタイミング、②本人の性格に合わせた推奨文言、③本人に最適な運動内容を分析し、この3つのパーソナライズ化された提案により、健康増進への行動変容を促す「カロママ プラス」の新機能の効果を検証する実証

Point !〔参加者：約200名〕

- 幅広い世代の住民が対象
- パーソナライズ化された運動の効果により他アプリと差別化

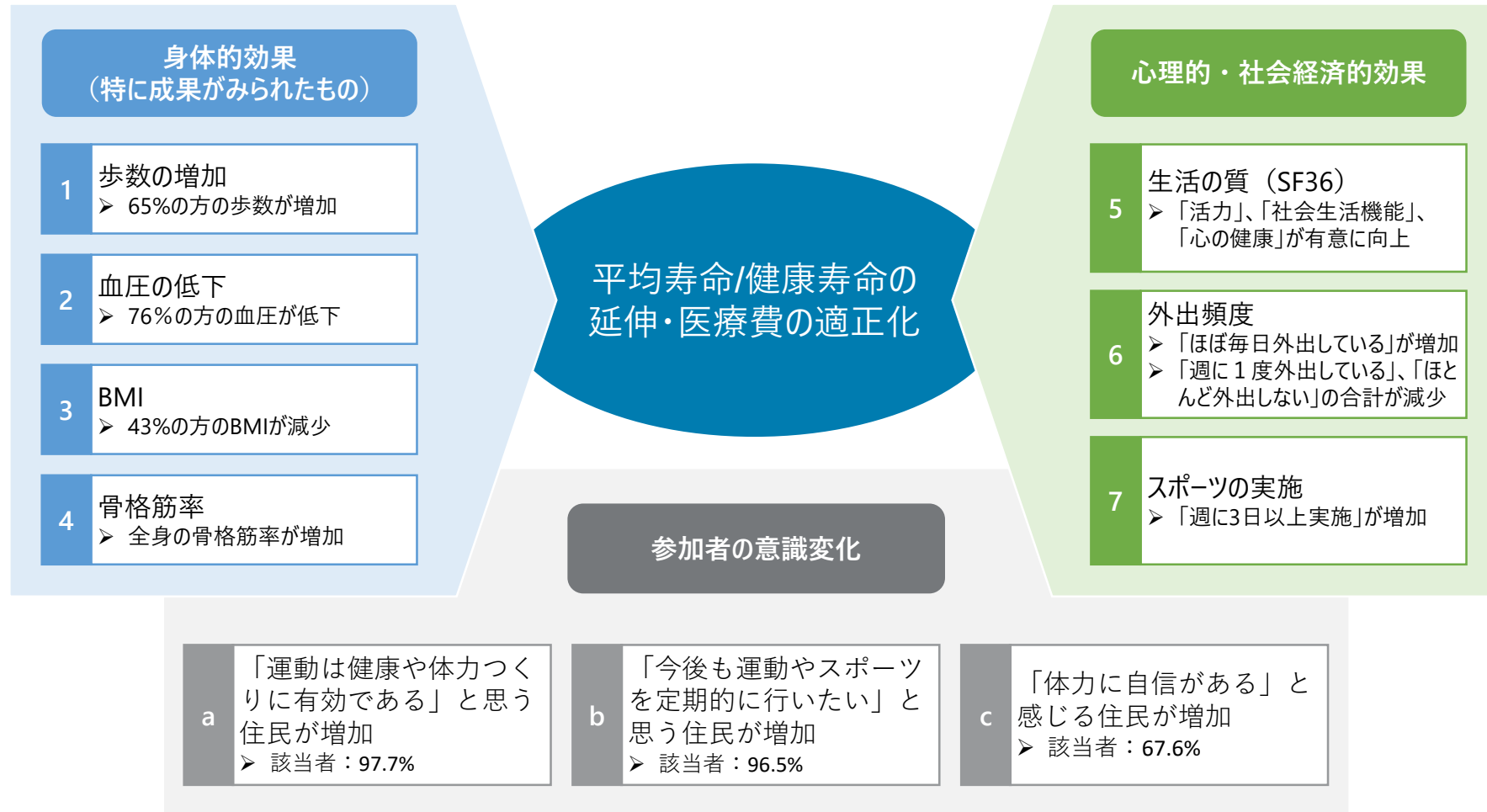
実証結果（実証前後に活動量計で数値を測定）はR4.5末予定



OSPF法人会員であるコガソフトウェア様、大塚製薬様、リンクアンドコミュニケーション様、池田泉州銀行様と連携し、以下の実証実験を実施しています。

	実証実験	OSPF参画企業	実施概要	2021年					2022年		
				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①	メディカルフィットネス Myトレーニング教室	- コガソフトウェア  Koga Software Company - 大塚製薬  Otsuka	- 医師から特定疾患の患者に対して参加提案し、生活習慣の改善を促す - 関西医科大学とミズノ社と協業し、健康増進に特化した運動教室を実施	参加募集	実施			評価・報告	実証結果を本日報告		
②	【AI健康アプリ×ヘルシー弁当×オンライン健康面談】 2型糖尿病サポート 実証実験プログラム	- リンクアンドコミュニケーション  Link & Communication - 池田泉州銀行  池田泉州銀行	- 健康診断の結果をもとに、2型糖尿病の患者、もしくは可能性のある方を抽出 - AI健康アプリ＋ヘルシー弁当を提供することで、デジタル×リアルのサービスを提供し、生活習慣の改善を促す	参加募集	実施			評価・報告			
③	AI健康アプリによる 運動習慣改善プログラム	- リンクアンドコミュニケーション  Link & Communication - 池田泉州銀行  池田泉州銀行	- AI健康アプリで収集した、食事や運動、睡眠などのPHRを分析し、個々人にパーソナライズされた運動提案を実施 - コロナ禍における運動不足を改善し、フレイル予防に寄与	参加募集	実施			評価・報告は 来年度以降を予定			

メディカルフィットネスMyトレーニング教室に参加した阪南市民において、身体的・心理的・社会的経済効果の改善が見られ、平均寿命/健康寿命の延伸および医療費の適正化に寄与することができたと考えています。



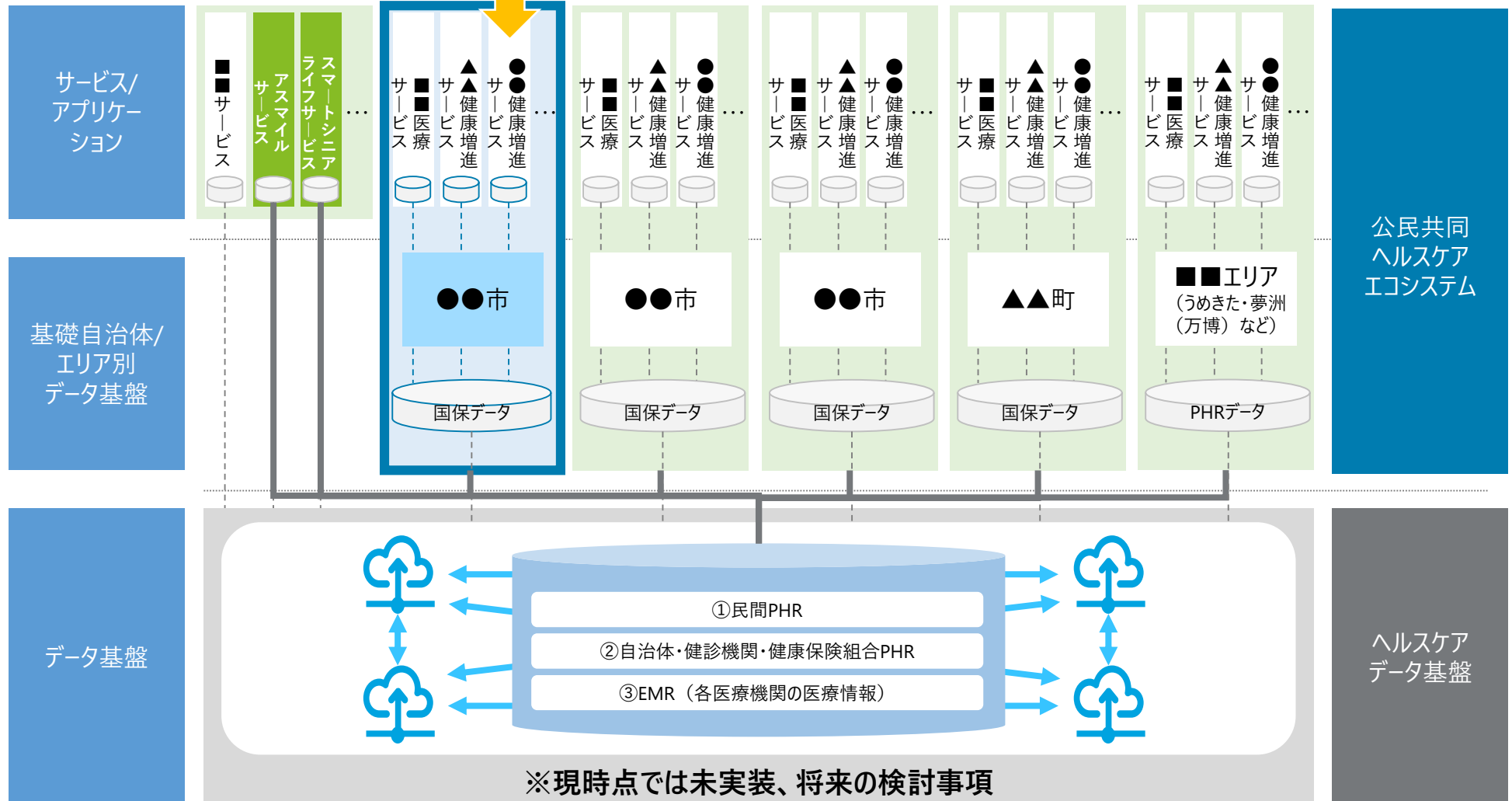
開講式と閉講式に参加88名（男性12名、女性76名）継続率91%

項目	目標	実績	評価
歩数1日あたりの平均歩数が運動教室開始月よりも終了月の方が増加した者の割合（対象者88名）	60%	65%	○
血圧が運動教室開始月よりも終了月の方が低下した者の割合（対象者68名） ※ 運動教室参加時の血圧が収縮期130mmHg以上または拡張期85mmHg以上	60%	76%	○
BMIが運動教室開始月よりも終了月の方が減少した者の割合（対象者21名） ※ 運動教室参加時のBMIが25以上の参加者のみ	60%	43%	△
骨格筋率が運動教室開始月よりも終了月の方が増加した者の割合（対象者84名）	60%	29%	△
生活の質（SF36）身体機能、日常役割機能、体の痛み、全体的健康感、活力、社会生活機能、日常役割機能、心の健康のいずれかが改善された者の割合	75%	93%	○
運動教室前後のアンケート調査により外出頻度（ほぼ毎日）が増加した割合	+10%	+5%	△

来年度の取組み

公民共同ヘルスケアエコシステムサービスモデル（複数サービス連携モデル）の設計・実装による課題解決提案を行う予定です。

来年度の
取組み対象



公民共同
ヘルスケア
エコシステム

ヘルスケア
データ基盤

府民QoL向上実現には自治体・民間企業単独での取り組みではなく、**互いの強みをつなぐ公民共同サービスモデル整備**が必要と考えています。

イメージ



* 大阪府では「悪性新生物」「心疾患」「脳血管疾患」など、生活習慣と関わりの深い疾患が主要死因の5割超を占める

End of Material